

高島公民館だより

高島公民館
(アイリッシュパーク内)
〒520-1121
高島市勝野670
TEL 36-0219
FAX 36-1909
t-kominkan@city.takashima.lg.jp

2025年 8月号 2025.7.23 (文責：高木)

高島公民館教室・講座 ～ 充実した活動を展開しています ～

高島公民館教室・講座は順調に進んでいます。好評を得て開催していましたが「初めてのピラティス教室」は8月2日に終了します。受講生の皆さまは、生き生きとおられます。最後までご健闘ください。

想いを伝える！みんなの話し方教室 *体験：影アナに挑戦！

「みんなの話し方教室」は講師(臼坂登世美氏)の熱意と受講生の意欲が相乗効果を生んでいます。話し方の実地体験をしようと、今年もガリバーホールで開催された映画会「お終活*再春!人生ラプソディ」(7月13日)の「影アナ」体験に挑戦をしてもらいました。音声だけのアナウンスですが、聞きやすさや声のトーン・大きさなどけっこう事前練習が大変でした。4名の受講生に経験をしてもらいました。緊張されたようですが、皆さまの堂々たる姿から意気込みが感じられました。

影アナ体験(終演後のアナウンス)→



探訪・高島の歴史と文化 第2回「高島の歴史上の偉人」7月16日

第2回の講座を前回同様に平井政一氏を講師に迎えて開催し、市のマイクロバスで新旭から安曇川、高島地域を巡るコースとなりました。天候が心配されるところではありましたが、館内で説明を受けているときに降雨があっただけで、無事に学びを進めることができました。

①浅見綱齋【朱子学者】

綱齋書院保存会会長の藤田様にお世話になり、書院を見学しました。浅見綱齋先生は新旭町大田に生まれ、京都で儒学者山崎闇齋に師事し、朱子学を継承。「崎門の三傑」と称され、終生仕官はせず、京都で子弟の教育と著述に努め、『靖献遺言』等著されました。

保存会・藤田会長から説明を受ける→



湖畔にたたずむ像の前で

②藤本太郎兵衛像【琵琶湖治水の先覚者】

新旭町深溝の庄屋で、親子三代にわたり、琵琶湖辺の水害の被害に対して幕府と掛け合うなどして治水に命を燃やしたそうです。瀬田川の自普請の川浚えを行い、琵琶湖治水の先駆けとなる偉業を果たされました。1782年以来50年かけて瀬田川浚渫の難工事は竣工しました。その業績を讃えて1994年にブロンズ像が新旭町深溝の琵琶湖畔に建立されています。

③中江藤樹【日本陽明学の祖】

藤樹書院の志村理事にお世話になり、藤樹書院にて中江藤樹先生について学びました。祖父に従い、米子藩、大洲藩に仕えましたが、27歳の時、脱藩して帰郷し、母への孝養のかたわら、私塾を開き、書を講じられました。朱子学から日本の陽明学を大成されました。すぐれた思想家であるとともに、立派な教育者であり、「近江聖人」と崇められ、著書や遺品が藤樹書院、良知館、中江藤樹・たかしまミュージアムに收藏されています。「道の駅藤樹の里あどがわ」には親子像が、安曇川駅東口には座像が建立されています。



藤樹書院 志村理事から説明を受ける



瑞雪院の裏山にある重蔵翁の墓

④近重重蔵【北方探検先駆者】

最後に訪ねたのが、高島市勝野の瑞雪院にある近藤重蔵翁の史跡です。寛文10(1978)年からの10年間に国後、択捉など5度にわたる探検を行い、特に択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てたことは有名で北方開拓に大きな足跡を残されました。また、学識も深く、1500巻にも及ぶ著書を残されています。晩年は息子富蔵の殺傷事件により、監督責任を問われて大溝藩に幽閉されました。獄舎に入れられながらも『江州本草』30巻を著しましたが、2年余りの幽閉生活後、文政12(1829)年に病没し、瑞雪院に重蔵の墓(市史跡)や詩碑があります。今も近藤重蔵翁顕彰会が墓等を管理し、遺跡や遺物の調査研究など学習を重ねておられます。

高島には偉人が多く存在され、今もその偉業を学び、史跡等大切に顕彰されている姿に感銘を受けました。この他にも高島には偉人が多くおられます。受講生の皆さまには、今後も探求されていくことを期待します。

高島キッズチャレンジデー【高島青少年育成学区民会議主催】

～ 世界に一つだけの風鈴(ふうりん)を作ろう!～ 7月13日(日)

本年度の「高島キッズチャレンジデー」は、高島青少年育成学区民会議の事務局を中心に準備を重ね、当日は常任委員の皆さまの支援・協力を得て実施しました。14名の子どもたちと保護者が参加して、身近なペットボトルの空き容器を使って、色を塗ったり、飾りを付けたりしてオリジナルの風鈴を楽しみながらつくることができました。できあがった作品のいくつかは、まちあかり食堂へ寄贈しました。夏のイベントに使っていただけるとのこと。すてきな音色が聞こえてくることを願っています。



ペットボトルの切断箇所を決め、カッターで切断しています オリジナルの装飾をしています



作品を手に記念撮影

夏休み 子ども陶芸教室【高島青少年育成学区民会議主催】

～ お皿や小物入れ、お茶碗づくりにチャレンジ～ 7月20日(日)



作陶に励む子どもたち

今年も高島陶芸クラブの皆さまにお世話になり、子ども陶芸教室を開催することができました。15名の子どもたちと保護者が参加して、たたらづくり(粘土を板状にすること)をもとに、お皿や茶碗、小物入れ等オリジナルの作陶に挑戦しました。高島陶芸クラブからは8名の方に指導に入っていました。素焼きをしたあと、8月10日に子どもたちの

高島公民館8月の予定

手で絵付けを実施して本焼きをします。作品は8月下旬に仕上がる予定です。

【高島図書室から】📖📖📖 ☎ 36-2160



毎年のことながら、夏は暑いですね。いかがお過ごしでしょうか？昔から「梅はその日の難逃れ」といいます。塩分の梅干しを食べ、水分も補充して熱中症なんかには負けないぞーの気持ちで元気に夏を楽しみましょう。

今月も、おススメ本を2冊ご紹介します。

『私たちの暮らしに生かせる南極レシピ』渡貫 淳子／著 家の光協会

南極観測隊の食事ってどんなものか知っていますか？時々、ドキュメント番組などでみかけますが、こちらの本では、実際に調理隊員として、現地で腕を振るった作者が、日常でもおいしく食べられる「南極レシピ」を紹介しています。

南極では、ごみを出さない・食材は使い切る・食べきるなどルールがあるそうで、それを、日本の食生活に応用すれば今、何かと話題のフードロスが減り、非常時の食事にも役立ちそうです。作り手順も他の料理本より少ないのもチャレンジしやすいですね。一度南極の味を作ってみませんか？

『50歳から8か国語を身につけた翻訳家の独学法』宮崎 信治／著 青春出版社

翻訳のお仕事なさっているのなら、語学習得なんて、お手のものでは？と思いがちですが、外国語が苦手な人にも「やってみようかな」と思わせるような作者が編み出した独自の語学習得方法が、わかりやすく紹介されています。

今年もあと数か月。何か新しいことに挑戦するきっかけにしてみるのもいいのではないのでしょうか。

お探しの本がみつからない時はお気軽におたずねください。また、貸出中の場合はご予約できます。

1	金	
2	土	想いを伝える！みんなの話し方教室④ 初めてのピラティス教室 土⑧
3	日	
4	月	休館日(図書室休み)
5	火	(図書室休み) 子ども書道(硬筆)教室⑥
6	水	
7	木	(図書室休み) 高島地区スポーツ委員会議20:00～
8	金	
9	土	
10	日	子ども陶芸教室(絵付け) 13:30～
11	月	山の日(図書室休み) ガリバー文化祭実行委員会9:30～
12	火	休館日(図書室休み)
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	おはなし会10:30～11:00(和室)
17	日	
18	月	休館日(図書室休み)
19	火	(図書室休み) 子ども書道(毛)教室⑥
20	水	ガリバー文化祭参加申込受付開始(～9月15日)
21	木	
22	金	
23	土	想いを伝える！みんなの話し方教室⑤
24	日	
25	月	休館日(図書室休み)
26	火	(図書室休み)
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	